

# 塩原カントリークラブ 攻略編！

## ～中コース～

### ～ Hole 1 ～



#### 【コース解説】

やや左ドッグレッグのロングホール！

#### 【中里プロからのアドバイス】

1打目は、2打目が打ちやすいように  
やや右に打っていきたい。

2打目は、残り200ヤードから50ヤード付近フェアウェイ  
に松の木数本と右側にバンカーがある為、距離と方向性の  
正確さが求められるショットになる。

グリーンは左側手前と奥から、右側センターやや奥から  
傾斜があるので、真ん中に乗せた方がパッティングしやすい。



### ～ Hole 2 ～



#### 【コース解説】

平坦なショートホール！

#### 【中里プロからのアドバイス】

ティーショットは、グリーン左手前。

右側にバンカーがあるので、正確なショットが必要になる。

外すのであれば、グリーン手前か左バンカー奥に外したい。

グリーンは左から多少の傾斜があるので、強弱に気を付けたい。



# 塩原カントリークラブ 攻略編！

## ～中コース～

### ～ Hole 3 ～



#### 【コース解説】

真っ直ぐで緩やかな打ち下ろしのミドルホール

#### 【中里プロからのアドバイス】

- 1打目は勇気を持ってバンカーを嫌がらずフェアウェイ左端にアドレスをとりたい。
- 2打目はグリーン奥にバンカーが有り、グリーン手前から奥に傾斜が有る為小さめのクラブで攻めたい。



### ～ Hole 4 ～



#### 【コース解説】

やや打ち下ろして緩やかな左ドックレッグのミドルホール

#### 【中里プロからのアドバイス】

- 1打目は、左OBで右は松林で右に向きがちでミスしやすい為、左松の右にアドレスをとりたい。
- 2打目は、グリーンがうけて見える為にピン迄打っていきたいが、やや打ち下ろしがある為、手前から攻めたい。グリーンは手前から早い。



# 塩原カントリークラブ 攻略編！

## ～中コース～

### ～ Hole 5～



#### 【コース解説】

やや打ち下ろして緩やかな右ドッグレックのミドルホール



#### 【中里プロからのアドバイス】

1打目は中4番同様、左OB 右松林の為、真ん中の松に構えて打っていきたい。  
2打目はグリーンが縦長でやや打ち下ろしなので、距離感が難しい為、短めのクラブで狙いたい。  
グリーンは手前からうけているが手前から転がる。

### ～ Hole 6～



#### 【コース解説】

やや打ち上げて短めのストレートなミドルホール

#### 【中里プロからのアドバイス】

1打目は左側に松、右側にバンカーが有る為、正確なショットが要求される。  
その為、バンカーまでとどかないクラブで刻むのもOK。  
無理にバンカー越えを狙えば力が入りミスの確立が高くなる。  
2打目はグリーン手前と右側にバンカーがあるので、半クラブ大き目な番手でグリーンを狙いたい。  
グリーン奥から傾斜があり距離感が難しい。



# 塩原カントリークラブ 攻略編！

## ～中コース～

### ～ Hole 7 ～



#### 【中里プロからのアドバイス】

1打目はフェアウェイセンターの1本松狙い。  
右のバンカーに入れると次にグリーンを狙えないので  
やや左に打ちたい。  
2打目はグリーン右にバンカーがあるので左手前から  
責めていきたい。  
グリーンは左奥からの傾斜があるのでカップをオーバー  
させたくない。

#### 【コース解説】

やや打ち上げ右ドックのミドルホール



### ～ Hole 8 ～



#### 【中里プロからのアドバイス】

1打目はグリーンの手前、左、奥にバンカーがあり、  
グリーンが横長で奥行きが無い花道も狭い為、  
距離感方向性の正確なショットが要求されます。  
そして、バンカーに入れるより、グリーンが左から傾斜が  
あるので、右側に外しアプローチした方がよせやすい。  
グリーンは左から傾斜があるので手前にのせて下からの  
パットをしたい。

#### 【コース解説】

やや打ち上げのショートホール



# 塩原カントリークラブ 攻略編！

## ～中コース～

### ～ Hole 9 ～



#### 【コース解説】

緩やかな右ドッグレックなロングホール



#### 【中里プロからのアドバイス】

1打目はフェアウェイセンター左目狙い。  
右にバンカーがあり右ドッグレックの為右に打って  
いきたいがバンカーに入れると3打目が難しくなる。  
2、3打目はグリーン 40～50 ヤード手前に松があり  
100 ヤード残すか松の前まで打っていくか？  
マネジメントが必要になる。  
アプローチはカップ左手前に置きたい。  
グリーンは右奥から傾斜があるため左手前から攻めたい。

